
所 属 : 国際学部

職・氏名 : 准教授 倉科 一希

U R L :

研究キーワード : アメリカ、冷戦、米欧関係、国際関係史

■研究テーマ

① 米欧同盟と冷戦

概要：1950年代から60年代にかけて、冷戦における米ソ関係が一定の「安定化」を達成しました。その一方で、アメリカと同盟国、特に西ヨーロッパ諸国との関係は大きく動揺します。本研究では、アメリカと西ドイツの関係に焦点を当て、東西関係と同盟関係の交錯を解明します。

② アメリカの国内政治と外交の相関関係

概要：第二次世界大戦から冷戦に至る時期のアメリカでは、国内政治の変化と外交関係、とくに東西冷戦の変容とが、密接に関連していました。一般的には国内政治が原因になって対外関係が変化すると考えられますが、両者の関係はもっと相互的であるように見えます。本研究では、歴史学的アプローチに基づき、国内政治と対外関係の相関関係を明らかにします。

■研究テーマの応用例

日本にとって依然として重要な外国であるアメリカを、とくに日本以外の国々との関係に焦点を当てて紹介することで、アメリカへの理解を深める活動に貢献できます。

■主な著書、発表論文

『アイゼンハワー政権と西ドイツ—同盟政策としての東西軍備管理交渉』（ミネルヴァ書房、2008年）

共著『欧米政治外交史 1871～2012』（ミネルヴァ書房、2013年）

共著『アメリカ文化入門』（三修社、2010年）

“Let the MLF Sink out of Sight”: The Cold War and Alliance under the Johnson Administration”, *The Japanese Journal of American Studies*, No. 24 (2013)

■主な特許、芸術作品等

■想定される連携先

教育機関、企業などでのアメリカの理解講座への協力ができます。